CASBEE®新築[簡易版] 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築（簡易版）2010年版 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要

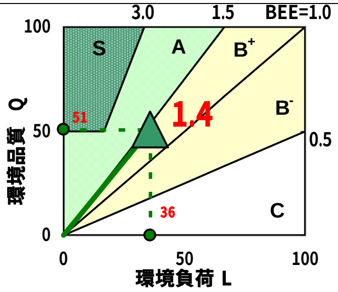
建物名称	ザ・パークハウス追浜（A棟）	階数	地上7F
建設地	横須賀市追浜東町2丁目3番1他7筆	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	400 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年11月 予定	評価の実施日	2011年6月2日
敷地面積	6,922 ㎡	作成者	株式会社安宅設計
建築面積	2,677 ㎡	確認日	2011年6月2日
延床面積	12,840 ㎡	確認者	株式会社安宅設計

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率（BEEランク&チャート）

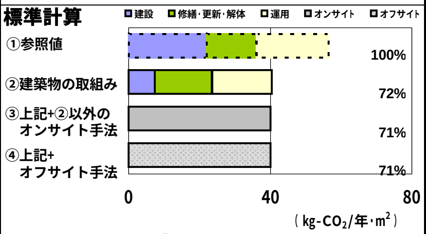
BEE =1.4 ★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



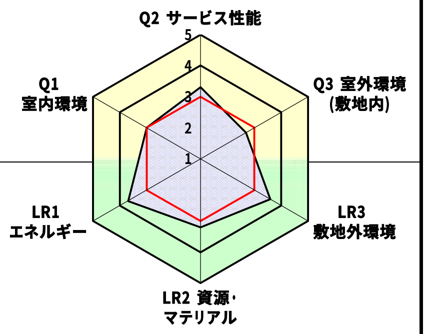
2-2 ライフサイクルCO₂（温暖化影響チャート）

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

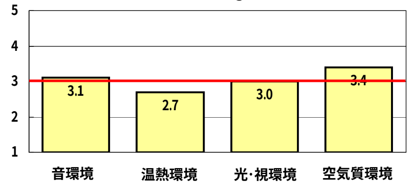
2-3 大項目の評価（レーダーチャート）



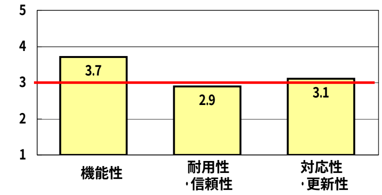
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質 — Q のスコア= 3.0

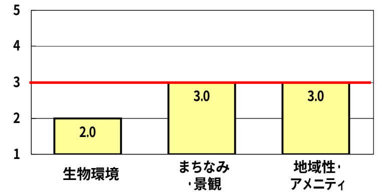
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0



Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.3

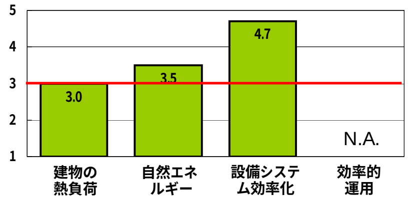


Q3 室外環境（敷地内） Q3のスコア= 2.7

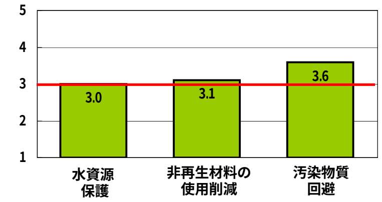


LR 環境負荷低減性 — LR のスコア= 3.5

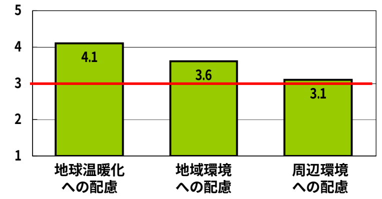
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.7



LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2



LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.6



3 設計上の配慮事項

総合

全体計画は、「丘の上の"Garden City"空と街（天と地）をつなぐところ」をテーマに追浜の次世代の中心となる丘として中央の公園と西・東の2本のまち軸が"賑わいのまち"と"自然と調和するまち"を創りだすような計画となっている。
また、建築計画では、丘の上にエコ生活が展開するというテーマで計画がなされている。

その他

0

Q1 室内環境

・住居部分は、窓を大きく設けて昼光利用をし、採光に配慮する。
・仕上材を厳選し、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ等の化学汚染物質の発生抑制に配慮する。

Q2 サービス性能

・Gbitクラスの通信回線設備に対応している。
・躯体、空調配管等、耐用性に配慮する。
・通信設備が非常時に建物機能が維持できるよう配慮する。

Q3 室外環境（敷地内）

・豊富な緑地を設けて温熱環境や生物環境の向上に配慮する。
・周辺からの景観に配慮し、街並みの調和に配慮する。

LR1 エネルギー

・太陽光発電を利用し自然エネルギーの変換利用に配慮している。
・高効率な照明器具を採用。

LR2 資源・マテリアル

・ハロン消火剤を一切使用せず、汚染物質の使用回避に配慮する。
・断熱材は全てノンフロンを採用し、汚染物質の使用回避に配慮している。

LR3 敷地外環境

・新たに外構緑化を設け、敷地外への熱的影響削減に配慮する。
・十分な駐車ｽﾍﾟｰｽを確保し、敷地外への交通負荷抑制に配慮する。
・屋内・屋外から外に漏れる光へ配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい